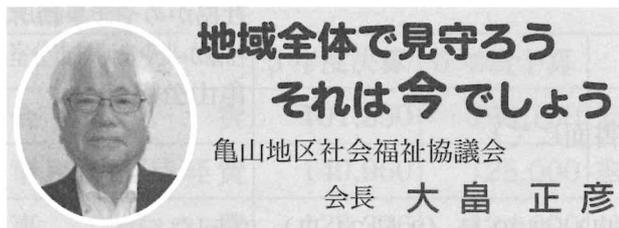


令和6年度亀山地区社会福祉協議会総会

亀山地区社協は、5月26日(日)亀山公民館で令和6年度の代議員総会を開催。総会には来賓の甲元宏章 亀山中学校校長、上野由美子 亀山小学校校長、若佐健司 安佐北区社会福祉協議会事務局長、社協役員・代議員57名が参加しました。

総会に先立ち物故者に黙祷、事務局より総会成立の宣言で開始(出席者53名、委任状71名、総計124名)。大島正彦会長の挨拶、来賓の方々の祝辞に続き、議長に升本洋二氏(四日市)を選び議事に入りました。令和5年度の事業・決算・監査報告及び令和6年度の事業計画・予算案が、質疑応答をへて原案通り承認可決されました。その後、『広島型地域運営組織(広島エルモ)について』安佐北区社会福祉協議会事務局長 若佐健司氏の講演がありました。

総会議事終了後、好評を頂いている亀山小学校の児童による作文発表もありました。(6面掲載)



地域全体で見守ろう それは今でしょう

亀山地区社会福祉協議会

会長 大島 正彦

平素より亀山地区社会福祉協議会の活動に対しまして、ご理解・ご協力を頂き心より感謝申し上げます。

亀山地区社協は、今年の11月28日に【かめやままちづくり協議会「かめやまLMO」】を亀山学区内29団体の加入により発足させ「福祉のまちづくり」の拠点といたしました。

事務所を亀山3丁目「まちづくり四日市役場」内に設置し毎週月曜日から金曜日の午前10時から午後3時まで、職員が駐在して開所しております。お立ち寄りください。

さて、最近高齢者の関連する交通事故が多発し、交通死亡事故の加害者になる、痛ましい事も発生しております。皆さんの記憶にあると思いますが、数年前、東京池袋で起きた、高齢者ドライバーの運転する車が暴走して歩行者などを次々とはね、自転車に乗っていた31歳の母親と3歳の長女を死亡させたほか、9人を重軽

傷にいたらしめた事故がありました。この事故は、当時87歳の高齢者ドライバーが『アクセルとブレーキ』を踏み間違えた事故で、その後も高齢者による、事故が発生して社会問題となっております。

高齢者が交通事故を起こす要因として次のようなケースがあります。

- ①車の操作上のミスで、例えば「ブレーキとアクセルの踏み違い」「ハンドルの操作ミス」など自分自身の操作ミス。
- ②運転者自身の体力低下に起因する「視覚機能の低下」「注意力、集中力の低下」「慌ててパニックになる」などの操作ミス。
- ③脇見運転による「前方不注意」「注意力、集中力の低下」などの、運転者自身の動作によるミス。

このような事を見据えた時、高齢者は「免許証返納」の決断をする時であると思います。

【この決断をするのは今でしょう】

今後とも皆さまの力をお借りして、愛される、更に住みやすい、亀山地区社会福祉協議会を推進して行きたいと思っております。更なる、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

令和5年度事業報告

(福祉推進事業)

年	月	日	事業内容	開催場所
5.	4.	3	ひとりくらしの花見会 中止	可部運動公園
5.	6.	19	亀山地区社協サロン代表者及び世話人交流会 (助成金の配布)	社協かめやま分室
5.	8.		食中毒予防講習会 中止	亀山公民館
5.	9.	8	敬老事業 (お祝い金配布)	亀山公民館
5.	10.	23	ふたりくらしの集い (75歳以上) 参加者 62名 懇親会 43名 演目 落語 講師 秋風亭てい朝氏	亀山公民館
5.	10.	27	男の料理教室 (前期) 中止	亀山公民館
5.	11.	5	ひとりくらしの集い (70歳以上) 日帰りバス旅行 参加者 38名	島根県六日市温泉 (ゆ・ら・ら温泉)
5.	11.	12	亀山地域祭りで福祉バザー開催 (収益金 42,142円)	亀山公民館
5.	12.	10	在宅要介護者及び介護者への配食と激励訪問 要介護者 29名、介護者 24名 計 53名	亀山集会所
5.	12.	15	赤い羽根共同募金活動、募金集計 (募金総額 930,060円)	社協かめやま事務所
6.	2.	18	ふれあい福祉会議と懇親会 参加者 63名 懇親会 33名 講師 安佐北区社会福祉協議会 事務局長 若佐健司氏 講師 安佐医師会病院 病院長 土手慶五氏	亀山集会所
6.	3.	8	男の料理教室 (後期) 中止	亀山公民館

(各種会議)

5.	4.	12	亀山地区社会福祉協議会 会計監査	社協かめやま事務所
5.	4.	24	亀山地区社会福祉協議会 役員会	社協かめやま四日市分室
5.	5.	22	亀山地区社会福祉協議会 理事会	亀山公民館
5.	5.	28	亀山地区社会福祉協議会 代議員総会 (書面にて)	

(広報活動) 広報紙「かめやま」発行

126号 (7月25日) 127号 (11月25日) 128号 (3月31日) 3回発行

(社協関連団体事業)

5.	11.	13	広島県社会福祉協議会 会長表彰 (受賞者 大畠正彦、小田正彦、奥野昭代、中坊 寛、迫田和英、堂前純子)	JMS アステールプラザ
5.	11.	13	広島県共同募金会 会長表彰 (受賞者 迫田和英)	JMS アステールプラザ
5.	11.	24	広島市社会福祉協会 会長功労者表彰 (受賞者 下向 進、浅枝桂子、迫田和英)	広島市総合福祉センター
5.	11.	28	安佐北区社会福祉協会 会長功労者表彰 (受賞者 大田隆子、古埜千図子、小坂昭義、松本雅治、大石貞男、竹内隆子、萩原フミ 清水ヤス子、濱田富法、田川佐智子)	安佐北区総合福祉センター

(四日市分室事業)

合同相談会	社協かめやま四日市分室
(安佐北区役所、安佐北区社協、亀山包括、他4施設、分室) 11回開催	
認知症カフェ、子育て支援 (居場所作り)	社協かめやま四日市分室

(その他の事業)

5.	7.	24	亀山学区献血推進運営委員会及び献血事前会議 (書面にて審査)	
5.	10.	14	亀山学区献血実施 受付者数 73名 採血者数 66名 *全員 400ml採血	アルゾ可部店

(支援事業) サロン活動くつろぎ会・子育てサロン

令和5年度決算・令和6年度予算

収入の部

(単位：円)

費目	5年度決算	6年度予算	摘要
繰越金	798,460	643,420	前年度より繰入れ
会費	568,800	568,500	一世帯拋出 150 円× 3,790 世帯
助成金(地区社協)	588,930	497,440	地区社協運営費・事業費・推進事業費・広報紙助成金 連携会議開催
寄付金	257,000	250,000	香典返し、見舞い返し、その他
負担金収入	190,000	200,000	ひとりくらしのバス旅行個人負担 5,000 円× 40 人
	64,500	112,500	ふたりくらしの懇親会個人負担 2,500 円× 45 人
	80,000	87,500	ふれあい福祉会議と懇親会個人負担金 2,500 円× 35 人
事業収入	42,342	40,000	福祉バザー
雑収入	17,008	17,000	共同募金事務手数料・預金利息・自治連家賃負担金
収入合計	2,607,040	2,416,360	

支出の部

(単位：円)

費目	5年度決算	6年度予算	摘要
会費	191,350	190,150	安佐北区社協会費 50 円× 3,803 世帯
事務所維持経費	149,960	125,000	家賃、電気料、電話料、社協分室運営費
事務費	123,376	124,000	はがき、切手、プリント、研修会、謝礼等
会議費	16,000	0	市社協会会議費
広報費	292,400	280,000	広報紙「かめやま」3 回発行 (各 4,000 部× 14 頁)
福祉事業費	809,171	932,000	ひとりくらしの花見会、ひとりくらしのバス旅行、 ふたりくらしの集い、男の料理教室、在宅要介護者 及び介護者への配食と激励訪問、ふれあい福祉会議 と懇親会、いきいきサロン助成金、子育てサロンプー さん助成金、四日市分室事業、ボランティア活動費、 災害被害者見舞金・被災者援助活動費
コミュニティ活動推進費	236,419	249,000	敬老会 (白寿・米寿祝い、在宅要介護者見舞い等)
団体助成金	134,064	83,000	子ども会育成協議会、青少年健全育成協議会、 母親クラブ、いきいき子育てフェスタ
その他	10,880	0	振込手数料・香典代
支出合計	1,963,620	1,983,150	
予備費	643,420	433,210	
合計	2,607,040	2,416,360	

令和6年度 事業計画

〔基本的考え方〕

亀山地区社会福祉協議会（亀山地区社協）活動の基本的な考え方は従来通り、「住んで安全 暮らして安心 絆のまち かめやま」のスローガンを基軸として実施致します。「コロナ禍」で活動休止状態から回復した現在、亀山地区社協としましては、広島市社会福祉協議会の「新・福祉のまちづくり総合推進事業」、広島市が進めています新たな体制づくり（「ひろしま LMO」）の亀山版「かめやま LMO」を積極的に取り入れてまいります。

現在、少子高齢化・核家族化・人口の減少が、急速に進んでいます。この事実を見据えた時、社会全体で支えあう力「自助・共助・公助・互助」に「近助」を加えた五つの「助」を、今まで以上に構築していくことが大切です。しかし、現在の私たちの周りでは社会全体で支えあう力の重要性を認めながらも、隣近所の付き合いが希薄になり、お互いの価値観が多様化する中で、特に高齢者、子育てや介護をめぐる問題が顕在化し、社会的に援護を求める人々が多くなっています。

今年度も亀山地区社協としては、上部組織である広島市社協・安佐北区社協そして「かめやままちづくり協議会」の方針を受けて亀山地区も地域性を考え福祉活動を展開してまいります。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

〔実施計画〕

【福祉のまちづくり4つの要素】（1）安心して暮らせるまちづくり（2）共に暮らせるまちづくり（3）支えあえるまちづくり（4）潤いのあるまちづくり—を目指します。具体的には、地域における高齢者・介護を必要とされる方、子育て中の方への活動支援、その他住民への福祉支援を以下の3つに分け、重要活動として取り組んでいきます。

- ①近隣ミニネットワークづくりの推進事業（ミニネット）…気がかりな人の孤立防止と変化の早期発見とつなぎ
- ②ふれあいいいききサロン設置推進事業（サロン）…住民同士が顔を合わせ、なじみの関係をつくっていく場づくり
- ③地区ボランティアバンク活動の推進事業（バンク）…お互いが助け合う地域づくり、困った時に相談できる亀山社協づくり

この活動を実施するためのツールとして「緊急医療情報キット」「緊急時見守り通報ネットワーク」「亀山地区社協相談日」の充実を図り、「サロン利用充実」「ボランティアバンク相談の充実」「高齢者への見守りの活動（認知症に関する取り組み）」「住民主体型生活支援サービス」「かめやま LMO」の更なる充実と定着化を図ります。

事業の実施には財政的に厳しい状況にあります。このため自己財源の確保につきまして、会員の皆さまのより一層のご理解・ご協力をお願いします。

—出来ることから小さな福祉を亀山の地から—

〔事業計画〕

福祉事業

- ①あいさつ声かけ運動 ②見守り活動の推進・ひとり、ふたりくらし等の方々への訪問、見守り・「緊急連絡体制」「緊急連絡カード」「災害時の要介護要援護者の支援」及び「安心箱」の設置・「かめやま LMO」と協力して「となり組」活動を推進し絆を深めていく ③地区内の介護施設との交流 ④「地域包括ケアシステム」の導入を推進 ⑤「社協かめやま」「社協かめやま分室」の〈相談日〉の PR

高齢者福祉の向上

- ①在宅高齢者（要介護4・5）へのお見舞い
- ②在宅高齢者とその介護者及び95歳以上の高齢者に配食・励まし訪問
- ③ひとりくらし高齢者のつどいを開催（花見会・日帰り旅行・料理教室・その他）
- ④ふたりくらしの高齢者のつどいを開催（つどい及び懇親会・その他）
- ⑤男性のための料理教室
- ⑥その他各地域における高齢者を対象とした事業への支援

敬老事業

- ①米寿・白寿の方にお祝い金
- ②各地域の敬老の日に祝辞

ボランティアバンクの充実と活動の定着

- ①バンク員を再募集し、派遣事業の充実を図る
- ②バンクスタッフの強化
- ③サロン新規開設の支援
- ④『住民主体型生活支援訪問サービス』事業との連携を強化

「ふれあいいいききサロン」への支援充実

- ①幅広く参加者を募る（特に男性）
- ②サロン間の交流
- ③ボランティアバンクの活用
- ④亀山地域包括支援センターの支援による「ふれあいいいききサロン」の充実
- ⑤新規開設の支援

「子育て育児サロン」への支援充実

- ①サロン間の交流
- ②新規開設の支援
- ③積極的に「かめやまLMO」を利用する

災害被害者への援助

火災、風水害等の被災世帯に見舞金
学区内諸団体との活動推進会議・福祉懇談会の開催（「かめやまLMO」を積極的に活用）

- ①理事・代議員及び地域の福祉施設関係者等による研修会、情報交歓会・懇談会の開催
- ②学区内諸団体の代表者及び関係者等による組織内活性化（会員の加入促進）等の情報交換会の開催

各地域福祉活動、子ども福祉の向上と健全育成の支援

子ども会育成協議会・青少年健全育成連絡協議会・母親クラブ活動・子ども見守り活動等への支援

広報活動事業

広報紙「かめやま」を年2回以上発行・変わろうとしている社会福祉の情報収集

自主財源の確保

「かめやま福祉バザー」（亀山地域まつり）、寄付（香典・見舞い・お祝い返し）の呼びかけ

事業報告 令和6年3月1日～5月31日

◇ひとりくらしの花見会

= 4月3日(水) 上行森集会所(降雨のため)
参加者37名

◇令和5年度会計監査

= 4月13日(土) 四日市分室

◇役員会

= 4月22日(月) 四日市分室

◇理事会

= 5月15日(水) 亀山公民館

◇第48回(令和6年度)総会・亀山小学校児童による発表会

= 5月26日(日) 亀山公民館 参加者57名

地域福祉事業にご寄付

亀山社協に令和6年3月1日から5月31日までの間、次の皆様から貴重なご寄付を頂きました。

謹んでお礼申し上げます。

◎香典返し

四日市 川崎初子 様(夫・清司 様)
上行森 新川 護 様(母・和子 様)

お願い

香典、お見舞い、お祝いのお返し等を亀山地区社協へご寄付の程お願い申し上げます。
窓口は自治会長、町内会長、民生委員、社協役員です

かめやま広場

私の好きな亀山

亀山小学校6年
中元舞子

私の住んでいる亀山は、自然が多く動物もたくさんいます。地域の人にも優しく、親しみやすいです。他にも亀山には、良いところがたくさんあります。

特に亀山の良いところは景色です。去年亀山ハイキングで福王寺に登りました。福王寺から見た亀山の町は今まで見たことのないほどきれいな景色でした。

他にもあります。私の家の近くにある橋から太田川を見ると、太陽の光が反射してキラキラしています。いつも通るたびにきれいだなと思っています。そこにはたくさんの生き物がいます。サギ、蛍、鴨、亀に魚までたくさんいます。たまに家の中から外を見ると、猪や鹿もいます。

夏になると家の前にある栗の木の匂いがします。その匂いがすると、「あー夏がきたな」と感じます。亀山はとにかく自然がきれいで、癒されます。

私のおすすめの場所は両延神社です。木に囲まれていて幻想的だからです。両延神社に行く途中の階段はとてもきつけれど、登り切ったら達成感があります。1・2年生の頃よくお父さんと行っていました。最近も、友達ともよく行きます。

まだまだ良いところがあります。それは町がきれいなことです。両延祭りがあった後、公園に行くと、昨日本当に祭りがあったのかと思うほどきれいです。川にもゴミは捨てられていないし、公園にもありません。地域の人たちが掃除をしてくださっているのだなと思いました。

私はこの自然がたくさんある亀山が大好きです。これからもずっと、大切にしたいです。

笑顔あふれる亀山

亀山小学校6年
井上莉亜

私が住んでいる町、「亀山」。この「亀山」という町には、よいところや、すてきなところがたくさんあります。

一つ目は、自然豊かで、虫などのたくさんの生き物がいることです。亀山の町には木や川がたくさんあるので、虫や生き物のすみかになり、虫や生き物がくらしやすいのです。木や、川がたくさんあることにより、私たちの生活をより良くさせてくれます。そのため「自然豊か」というのは、亀山のよいところなのかなと思いました。

二つ目は、パトロール隊の方々です。私たちより朝早く起きて、信号などの危ないところに、いつもあたり前のように子どもたちの登下校を見守ってくれています。学校に行く気分になれないとき、不安なときに「おはよう、いってらっしゃい」と声をかけられると「今日も頑張ろう」という気分になれます。いつも私たちに元気をくれるパトロール隊の方々。そんなパトロール隊の方々に、私も「おはようございます」「ただいま帰りました」と、元気にあいさつをして、感謝の気持ちを伝えていきたいと思います。

三つ目は、地域のお祭りです。地域の人たちが協力して、お祭りなどのイベントを開いています。私は、「亀山」という町は、「協力のできる町」だと感じました。どんなときでも助け合い、声をかけあっている、そんな亀山が私は大好きです。

亀山には、よいところや、すてきなところがたくさんあります。私は、「亀山に生まれてきて、本当によかった」亀山のよいところやすてきなところを知ると、あらためてそう思いました。これからは、もっと亀山のよさを知り、いろんな人に伝えていきたいです。